



桑の葉茶

山梨県立大学 杉山ゼミ 2年生

経緯/問題意識

今年度、杉山ゼミでは地域ブランディングをテーマに活動しており、そこで桑の葉茶を使った商品開発に興味を持ちました。

甲斐の桑の葉茶は**機能的価値**があることを知り、これに**感性的価値**を加えることで商品を印象付けることができ、地域の人に知ってもらいたいと考え、取り組みました。

目的・目標

- 「一ノ瀬桑」の魅力を伝えたい。

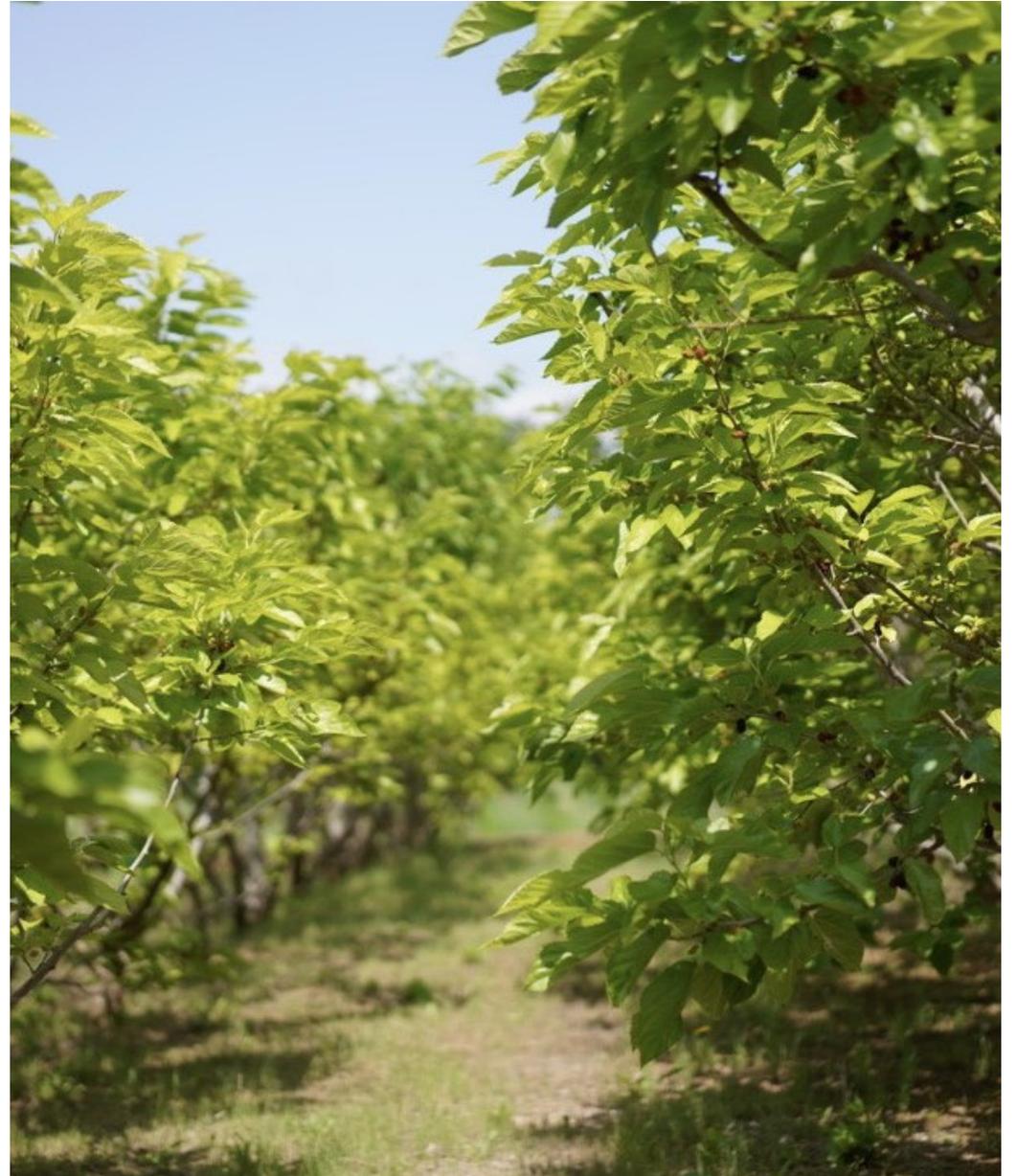
市川三郷町発祥の一ノ瀬桑は、最良品種として全国に普及し、日本の養蚕を支えていました。

歴史的また文化的に山梨県と密接に関わってきた一ノ瀬桑をより多くの人に知ってもらいたいです。

第一ステップとして甲斐市の特産品である桑の葉茶を甲斐市民に知ってもらう。



山梨県民へと拡大



主な活動内容

- ・桑の実収穫
- ・基礎調査・分析
 - 業界調査
 - ワークショップ
 - 顧客調査
- ・デザイン
- ・テストマーケティング
- ・デザイン評価と調整



アピールポイント



1. 朝5時に起きて6時から桑の実収穫に2週間ほど参加
2. すでに甲斐市商工会と一緒に取り組んでいる
3. 若い人が手に取りやすいようなデザインの作成
4. お茶という形で桑の歴史を後世に伝えていきたい
5. のちにふるさと納税の返礼品にしたい
6. 私たちが体験したことを発信



その他(最後に)

この活動を通して、山梨県における
地域循環共生圏(ローカルSDGs)の形成に寄与していきたい。